



<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
I-1 I-2 (北岸)	湖内 および 長瀬川	37.5047° 37.4995°	140.1143° 140.1409°	R4.8.24	節足動物	軟甲	エビ	サリガニ	<i>Pacifastacus leniusculus trowbridgii</i>	ウチダザリガニ	5	0.021	未成体/成体	—	—	3.5	N.D. (1.9)	3.5	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	5	0.034	未成魚	—	—	4.4	N.D. (1.4)	4.4	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	6	0.064	未成魚/成魚	—	—	3.0	N.D. (1.0)	3.0	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Acheilognathus rhombeus</i>	カネヒラ	12	0.031	未成魚	—	—	1.9	N.D. (1.5)	1.9	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	5	0.041	未成魚	—	—	4.2	N.D. (1.1)	4.2	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	2	0.010	未成魚	—	—	N.D.	N.D. (3.5)	N.D. (2.9)	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	ニゴイ	2	3.4	成魚	不明消化物	内臓除去	9.3	N.D. (1.4)	9.3	0.37
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Slender bitterling</i>	ヤリタナゴ	5	0.016	未成魚/成魚	—	—	2.1	N.D. (2.3)	2.1	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ	99	0.25	未成魚	—	—	3.9	N.D. (0.51)	3.9	—
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	1.0	成魚	魚類、スズエビ、蛾の幼虫	内臓除去	12	N.D. (1.3)	12	0.24
					脊椎動物	両生	無尾	ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>	ツチガエル	1	0.012	成体	—	—	3.2	N.D. (2.2)	3.2	—
R4.8.25	粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.21	—	—	N.D.	N.D. (0.31)	N.D. (0.29)	—		
R4.8.25	藻類・植物	—	—	—	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.0055	—	—	N.D.	N.D. (5.6)	N.D. (5.5)	—		
J-1 (南岸)	湖内 および 鬼沼周辺	37.4203°	140.1008°	R4.8.24	藻類・植物	双子葉植物	スイレン	スイレン	<i>Nuphar japonicum</i>	コウホネ	—	0.27	—	—	0.99	N.D. (0.25)	0.99	—	
					藻類・植物	双子葉植物	ナス	ミツカシワ	<i>Nymphoides peltata</i>	アサザ	—	1.8	—	—	0.50	N.D. (0.071)	0.50	—	
					藻類・植物	単子葉植物	オモダカ	トチカガミ	<i>Elodea nuttallii</i>	コカナダモ	—	0.29	—	—	8.09	0.49	7.6	—	
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	20	0.0097	幼虫 (ヤゴ)	—	—	3.9	N.D. (2.8)	3.9	—
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトトンボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	トンボ	<i>Sympetrum</i> sp.	アカネ属									
					節足動物	昆虫	トンボ	ヤンマ	<i>Anax parthenope julius</i>	ギンヤンマ									
					軟体動物	腹足	原始紐舌	タニシ	<i>Cipangopaludina japonica</i>	オオタニシ	30	0.064	未成体	—	—	N.D.	N.D. (0.98)	N.D. (0.93)	—
					軟体動物	腹足	盤足目	カワエナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワエナ	18	0.0084	未成体/成体	—	—	N.D.	N.D. (5.0)	N.D. (3.3)	—
				R4.8.25	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	3	0.91	成魚	不明消化物	内臓除去	13	N.D. (1.2)	13	—
				R4.8.26	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	3	1.0	成魚	不明消化物	内臓除去	20	N.D. (1.5)	20	0.44
				R4.8.25	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	2	1.6	成魚	不明消化物	内臓除去	6.7	N.D. (0.82)	6.7	0.47
				R4.8.26	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	1.5	成魚	不明消化物	内臓除去	1.4	N.D. (0.32)	1.4	0.28
				R4.8.25	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	ニゴイ	1	1.3	成魚	不明消化物	内臓除去	39	N.D. (1.3)	39	0.51
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	ニゴイ	1	1.3	成魚	不明消化物	内臓除去	11	N.D. (1.3)	11	0.61
				R4.8.24	脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	135	0.59	未成魚/成魚	—	—	0.59	N.D. (0.26)	0.59	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	1	0.070	未成魚	—	—	0.92	N.D. (0.76)	0.92	—
				R4.8.25	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	クニフィッシュ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	3	1.5	未成魚/成魚	スズエビ、ワカサギ	内臓除去	18	N.D. (1.2)	18	0.27
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー	1	1.3	成魚	魚類	内臓除去	21	N.D. (1.2)	21	0.75
R4.8.26	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー	1	1.5	成魚	魚類	内臓除去	28	N.D. (1.2)	28	0.58				
R4.8.24	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ	8	0.12	未成魚/成魚	—	—	2.0	N.D. (0.50)	2.0	—				
R4.8.26	脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	2	1.3	成魚	スズエビ	内臓除去	23	N.D. (1.3)	23	0.28				
R4.8.24	脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	30	0.019	幼生 (オタマシヤン)	—	—	39	N.D. (7.0)	39	—				
	脊椎動物	両生	無尾	ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>	ツチガエル	10	0.11	成体	—	—	1.5	N.D. (0.76)	1.5	—				
	脊椎動物	両生	無尾	トノキマカエル	<i>Pelophylax porosus porosus</i>	トウキョウダルマガエル													
	脊椎動物	両生	有尾	イモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	アカハライモリ													
脊椎動物	両生	有尾	イモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	アカハライモリ	36	0.19	成体	—	—	0.62	N.D. (0.40)	0.62	—					

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。